

## 請求書をデジタルに

SMFL、年300万円削減

来年1月

三井住友ファイナンス&リース(SMFL)は、2022年1月をめどにリース料金の請求書を紙からデジタルに切り替える。請求書をクラウドに保存し、顧客がダウンロードする方式とする。ウイングアーク1stが開発した。計3万の顧客のうち、事前に承諾した顧客が対象。リース商材の購入先への帳票なども置き換え、年3000万円の費用を削減する。

クラウド型の請求書にすることで、顧客は在宅勤務でも確認できるようにになる。請求書の発行を最大10人にメ

ール通知でき、見落としなどを防げるといふ。ウイングアーク1stのシステム「インボイスエージェントトランスプリント」を採用した。請求書の移行を前に、まず21年6月中に商材の購入先に発行する支払通知書をデジタ

ル化する。通知書は月間1万数千件あり、試験的に1000件程度視野に入れる。今後、既存顧客への再リース通知もデジタル化する考えだ。